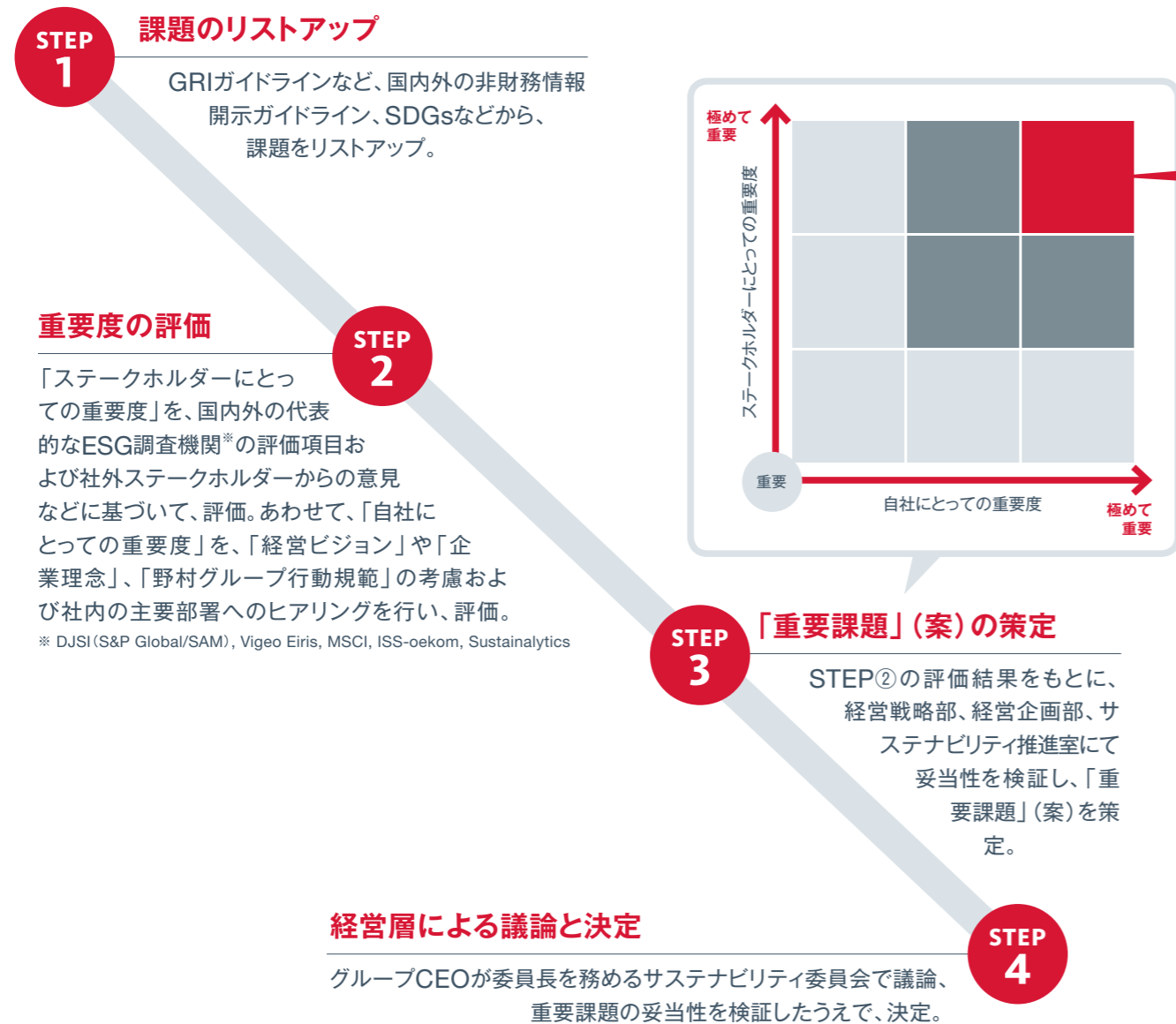


# Materiality

野村グループ経営の重要課題(マテリアリティ)

野村グループでは、2008年にCSRの重要課題を策定/公表して以来、国際社会やステークホルダーの声に耳を傾けながら、改定を重ねてきました。昨年、2025年に向けた経営ビジョン「社会課題の解決を通じた持続的成長の実現」を進めていくうえで、重点的に取り組むべき事項を野村グループ経営の重要課題(マテリアリティ)として改めて策定しました。これに対し、この一年における環境変化や当社におけるビジネス活動の進展などを踏まえ、見直しを行い、調整を加えております。引き続き、関連項目を用いながら、進捗を把握し、目指すべき姿に向けて取り組みを進めていきます。

## 選定プロセス



重要課題(マテリアリティ) <https://www.nomuraholdings.com/jp/sustainability/group/issues.html>

## 取り組むべき最重要課題

	重要課題	主な取り組み事例	関連項目	目指す姿	SDGsへの貢献	
持続的成長に向けた施策	資本市場 社会課題の解決に資する金融サービスの提供	ESG関係の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>責任銀行原則(PRB)、責任投資原則(PRI)への署名</li> <li>ホールセール部門ESGセクター・アベタイト・ステートメントを規定</li> <li>ESG投資商品の開発・提供、カーボンプライシングを活用した投資先企業の分析</li> <li>ノムラ・グリーンテックの設立</li> <li>エクイティ・リサーチ部ESGチームの設立</li> </ul> 顧客目線に立ったサービス提供の拡大の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>事業パートナーとの連携を通じた新たな顧客層の開拓</li> <li>少子高齢化を見据えた資産形成および資産寿命の伸長への取り組み(金融ジェントロロジーに関する研究・啓蒙、ハートフルパートナーによる接客など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サステナブルファイナンス関与額</li> <li>サステナブル投資比率</li> </ul>	野村グループでは金融資本市場を通じて、真に豊かな社会の創造に貢献することを企業理念に掲げています。付加価値の高い課題解決策の提供を行い、リスクマネーの循環を促すことで資本市場の健全な発展に貢献し、本業を通じて社会課題の解決を目指します	1, 8, 11, 13	
	ビジネス 「パブリック」に加え「プライベート領域」への拡大・強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>インベストメント・マネジメント部門の設立</li> <li>オルタナティブ運用商品の提供</li> <li>新たな投資家層・既存顧客の多様なニーズへの対応</li> <li>デジタルの活用によるニーズ・都合に合わせたプライベートなデリバリー</li> <li>顧客と同じ目線に立った手数料体系の導入、CIOモデルの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客資産残高</li> <li>オルタナティブ運用資産残高</li> </ul>	お客様の多様化するニーズに寄り添い、最適なソリューションを提供するための体制を整えます。常に変化し続けるビジネス環境に適応するために、不断の業務変革を重ねることで持続的な企業価値の向上を目指します	8, 9	
	ビジネス ビジネス・ポートフォリオの継続的な見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネス・プラットフォームの継続的な見直し</li> <li>ROE目標(2025年3月期: 8~10%)を意識した、リソースの最適配分とコスト・コントロール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ROE</li> <li>コスト合理化の状況</li> </ul>			8, 9
持続可能なビジネスの基盤	デジタル技術の活用・DXの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様なデジタル・デリバリーおよびコンテンツの拡充</li> <li>デジタル人材の育成および採用の強化を踏まえた、新時代における付加価値の追求</li> <li>対面に加え、メールやオンライン会議システムなどを活用したお客様アプローチの多様化</li> <li>ブロックチェーン技術を活用した市場インフラ提供などによるバリューチェーンの創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客満足度</li> </ul>		8, 9	
	ガバナンス 顧客保護の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報セキュリティの確保</li> <li>顧客資産および個人情報の適切な保護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客満足度</li> <li>苦情件数</li> </ul>	「社会課題の解決を通じた持続的成長の実現」という経営ビジョンの達成に向けて、顧客保護の徹底、コーポレート・ガバナンスの高度化、行動規範の浸透、法令遵守の徹底に取り組み、適正なビジネスコンダクトを追求するカルチャーの浸透・定着を図ることで、社会との信頼構築、企業価値の保護と向上につなげます	10, 16	
	ガバナンス 行動規範の浸透	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コンダクト・プログラム」の推進</li> <li>従業員向け研修の定期的な実施</li> <li>経営層からの継続的なメッセージ発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動規範の浸透状況(従業員サーベイ)</li> </ul>			10, 16
	レジリエンス リスクマネジメントの高度化	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルなリスク管理体制の強化</li> <li>リスク管理フレームワークの包括的レビュー</li> <li>リスク・カルチャーの浸透</li> </ul>		財務の健全性と企業価値の向上には、さまざまなリスクに対する適切な管理が不可欠です。グローバルで統合的にモニタリングや報告を行うリスク管理体制を構築し、高いレジリエンスを備えた企業経営を目指します	13, 16	
環境・社会	財務健全性の維持・各種規制への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務指標のモニタリングと開示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CET1比率</li> <li>外部TLAC比率</li> <li>流動性カパレージ比率</li> </ul>		10, 16	
	環境・社会 気候変動対策の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>TCFDへの賛同、TCFD提言に基づく情報開示</li> <li>気候変動リスクを含むESGリスクの特定とその軽減策を精査するプロセスの導入</li> <li>環境負荷低減のための環境マネジメント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サステナブルファイナンス関与額</li> <li>サステナブル投資比率</li> <li>CO<sub>2</sub>排出量</li> </ul>	お客様をはじめとした多様なステークホルダーの抱える課題に対しグループのさまざまな機能を活用した最適なソリューションを提供していきます。またステークホルダーとの継続的な連携を通じて社会・環境課題の解決に貢献していきます。持続可能な地球環境の保全は、経済・社会はもちろん、当社の持続的成長の基盤です	12, 13	
人材、ダイバーシティ & インクルージョン	従業員エンゲージメントの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康経営の推進、CHO(Chief Health Officer)の任命</li> <li>ダイバーシティ&amp;インクルージョンの推進</li> <li>戦略の浸透に向けたマネジメントと従業員との積極的なコミュニケーションの実施</li> <li>多様な働き方を可能にする制度の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員サーベイ</li> <li>健康診断受診率</li> <li>女性管理職比率</li> <li>育児介護支援諸制度取得実績</li> </ul>	私たちが持続的、さらに非連続的な成長を達成するためには、多様な人材と彼らが活躍できる環境が不可欠です。全従業員が自らの能力を最大限発揮し、活躍できる環境整備に取り組み、付加価値の高いサービスを提供していきます	5, 8, 10	

\*SDGsのロゴは最重要課題のみならず、重要課題の全項目に対するものです。重要課題の全項目は野村ホールディングスのWebサイトをご覧ください。